

奈良県指定文化財調査票

調査日	2021 年	7 月	17 日	記入者	大谷 巳弥子	
調査者名	饗庭	石井	大谷	垣内	久門	鶴田

文化財名	加守廃寺(かもりはいじ)					
種類	<input checked="" type="checkbox"/> 史跡	<input type="checkbox"/> 名勝	<input type="checkbox"/> 天然記念物	<input type="checkbox"/> 有形民俗文化財	<input type="checkbox"/> その他()	
指定年月日	1995年(平成7)3月22日					
所在地	葛城市加守					
所有者 管理者	個人					
員数						
時代区分	推定7世紀末～8世紀初頭創建 (廃寺となった時期は不明)					
樹木の場合	(樹木名)			(樹齢)		
案内板の状況	南遺跡にのみ奈良県教育委員会の説明板有り					
公開	自由					
保存状態	<input type="checkbox"/> 非常に良い	<input type="checkbox"/> 良い	<input type="checkbox"/> 普通	<input checked="" type="checkbox"/> 悪い	<input type="checkbox"/> 非常に悪い	
	補足()					
当面の課題	現在、北遺跡には看板も説明板も無いため、発掘調査時の写真や、「昔このあたりにお堂があった」という地元の方の話を頼りに、やっと場所を特定することができた。南遺跡とはかなり距離が離れているため、ぜひ北遺跡の方にも説明板を設置していただきたい。					
今後の課題	南遺跡、北遺跡ともに、埋め戻されて雑草が生い茂っている状態。特に北遺跡は、説明板も何も無い私有地のため、将来遺構が破壊される恐れを感じる。贅沢を言えば、整地して、南遺跡の金堂や北遺跡の塔の基壇を、レプリカででも現わしていただければ最善と思う。					
その他 (由緒など)	二上山山麓に伸びる尾根を隔てて北と南に約200m離れて伽藍が展開している。発掘調査により、南遺跡からは、南北に長い長六角堂の建物基壇が見つかり、北遺跡からは、薬師寺のものと同規模の塔基壇とその周囲の回廊が検出された。出土瓦から奈良時代の建立と考えられ、当時の文献に記録される「掃守寺」と推定される。また「薬師寺縁起」に、大津皇子の鎮魂のために建立されたとの説話も残る。					
コメント	春や秋には多くのハイカーが行き来する、二上山山麓を巡るウォークルート沿いに立地している。しかし、ウォークルートにも車道にも案内板が全く無いため、探しても見つけることが困難で、ほぼ忘れられた遺跡となっている。分かりやすい案内板が設置され、広く周知されることを願う。					

奈良県指定文化財調査票(写真)

調査日	2021 年	7 月	17 日	記入者	大谷 巳弥子	
調査者名	饗庭	石井	大谷	垣内	久門	鶴田

文化財名	加守廃寺(かもりはいじ)
------	--------------

加守廃寺のある二上山山麓



現在、四天王堂と石柱の建つ南遺跡



南遺跡に立つ「加守廃寺」の説明板



北遺跡があったエリア



南遺跡発掘状況(葛城市歴史博物館図録より)



葛城市歴史博物館展示の出土土器

